

# 平成 29 年度採択団体向け説明会

若林区中央市民センター 第一会議室  
平成 29 年 5 月 20 日 13:00 ~ 15:00

## 次第

- 1.開会
- 2.挨拶
- 3.奨励状授与
- 4.学び合い助成について
- 5.講座（本気でやる人のための小規模多機能自治ゼミ）
- 6.交流会
- 7.閉会

## 会議概要

### 【奨励状授与】



### 【学び合い助成について】

5 月 1 日以降の領収書が有効。11 月 30 日まで

【講座】山賀昌子（まぢゼミ実行委員会代表）新潟のNPO



- ・「まちだす」を発行
- ・小規模多機能自治の原点は、島根県雲南市が先進地
- ・小規模ながらも様々な機能を持った住民自治の仕組み
- ・まちづくりの基本ポイント
  - 1．地域交友の物的資源を整備する。（ハード）
  - 2．共感を生む良好な仕組みを作る。（ソフト）
  - 3．かかわる人たちの人間性を高める（ハート）
- 多様な人がかかわること、人を大切にする。地域固有の資源を生かす。
- 共に動けるように計画ををる。
- 小さくても共に行う「実行」は関係作りや新たな発展が見つられる。
- 目指すべき手順、分かち合える内容を共有する必要がある。
- 未来の町を姿を描き、検討していく；。
- 可能的将来と成り行きの将来の間の阻んでる要素が真の問題、そこを解決する方法を検討

事例紹介；新潟市内東区通仙川の河川環境再生、工場の夜景鑑賞、市民活動として実施、バスで鑑賞、大学生や企業にも協力要請、人気の高いツアーになった。観光資源として利用されている。コミュニティ協議会が主体となって、地域のまちづくりに生かし、

会長や会員が調整役、区役所や NPO のみではできなかった。県立大学の受け入れなどの実績も効果があった。

安全マップ作り：新潟市内の西区にある 40 年代の住宅開発地、高齢化、道路が狭く、緊急車両が入れない、地元で勉強会、道路を広げるのではなく、専門家を呼んで検討したり、GIS などの活用で MAP を作成、地元の人間が専門家だった。

島根県雲南市鍋山地区：小規模多機能自治の事例、高齢者の見守り、買い物支援、人手不足、水道検診の業務を受託し、作業時に高齢者の見守りを合わせて実施、地域の運営にその受託日が運用できる。市から保健師の派遣で、健康チェックも実施、買い物支援としてはコンビニの移動販売者の手配。自治会長の根回しがきいている。

## 6 . 交流会

・参加者が個々に、氏名、所属団体、目指すまちのイメージ、自慢できること、気になっていること、取り組んでいきたいことを記述、その後ミニグループで意見交換し、グループごとに発表した。

